

平成25年社会貢献プロジェクト

課題名：日本の難民問題への認知度向上・当事者への支援を通じて多文化共生社会の構築

代表者：富澤麻琴（国際総合学類・学生）

日本の難民問題、とくにその根底に潜んでいる人権問題に、地域市民・学生が一体となって目を向けていくことによって、他を尊重する社会作りに貢献し、多文化共生社会の礎を築いていきます。さらに、難民問題を的確に認識するため、牛久市にある東日本入国管理センターへ訪問し、難民当事者との関わりに主眼を置き、互いに尊重し合う関係を構築していきます。その中で両者にとって、よりよい社会作りを目指していきます。

～実施内容～

①面会活動

週に1回入国管理センターを訪問し、被收容者の方々と直接会話することにより彼らの精神的なケアとニーズの把握を行いました。

③日本語学習サポート活動

被收容者の方々の日本語学習のサポートをするため、オリジナル教材の作成と、今年度は個々のレベルを把握し適切なサポートのためにテストを実施しました。

②翻訳サポート活動

難民申請に必要な資料など、被收容者の方々から依頼された翻訳を無償で実施しました。

④情報発信/啓発活動

ブログ、Twitter、Facebook等を用いて、活動の紹介・難民関連情報を公開したことで問題の啓発を行いました。今年度HPを新規開設し、より一層情報発信に努めました。

⑤イベント企画

難民問題の啓発や認知度向上、相互理解のために、難民に関するイベントを企画・実施しました。

～開催イベント～

学園祭にてCaféを出店
【CLOVER Cafe】



【無国籍って？】
—無国籍問題をテーマとしたシンポジウムを開催

【Meal for Refugee】

—地域のお祭りにて出店、難民の故郷の味をテーマにした料理を販売



【あなたの一歩で世界が繋がる～CLOVER難民交流会2013～】
—難民の方々との交流イベントを開催



—世界難民の日である6月20日に大学構内にて写真展を開催
【あなたからクローバリーション】